

登録コード	TSP19500	開講年度	2026				
授業科目	学外特別講義（機械）					担当教員	柿 和彦
英文授業名	Special Lecture in other Institute					副担当	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	機械システム工学分野1～2年生
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 4TSカリ， 2 3TSカリ						
	【研究科共通】 人類，社会の平和的・持続的発展のために，研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	・社会に出たときどのような知識・能力が期待されているのかを理解できるようになる。
	2 6TSカリ， 2 5TSカリ						
	【専攻】 工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観					⇔	・社会でどのような知識・能力が期待されているのかを理解できるようになる。
	2 6TSカリ， 2 5TSカリ， 2 4TSカリ， 2 3TSカリ						
	【専攻】 環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	・学際領域に関する知識を修得できるようになる。
(2)授業の概要	国内外の高等教育機関等が開講している授業や国内外での広範な活動成果について、履修希望者からの申請に基づき、活動（履修）の内容・時間数、難易度等が本学の単位として他の授業レベルに相当するか否か個別に評価した上で単位認定をする。単位認定の対象となるかについては、事前に学務委員との相談が必要である。 海外留学等の場合、留学先の大学等で履修した実績等を単位取得の有無に関わらず申請可能であり、また、複数の授業科目、実績等を組み合わせることも可能である。						
(3)授業計画	1. 学務委員との相談（受講の承認と申請） 2. 受講（他の教育機関のシラバスや海外留学のプログラム等を参照） 3. 単位認定の申請 受講・留学等終了後1ヶ月以内に下記の資料を揃え、学務委員に提出する。1月末までの申請を当該年度の履修として受付ける。 ・"学外特別講義"履修申請書 ・申請書に記載されている添付書類一式（活動（履修）の内容・時間数等を証する書類、単位取得証明書、修了証等） ・その他、授業担当教員から指示のある資料等						
(4)成績評価の方法	学務委員が、提出された資料に基づき、活動（履修）の内容・時間数、難易度等が、本学の単位として他の授業レベルに相当するか否か評価した上で、その達成度に応じて成績を認定する。 （他の教育機関等が与えた評定がある場合には、提出すれば評価の参考とする。） なお、評価段階において、必要に応じてヒアリングを行うことがある。						
(5)成績評価の基準	可：当該活動の成果が受け入れ機関もしくは学科が認める基準に達している。 良：上記を満たした上で、本人の積極的な取り組みが認められる。 優：上記2点を満たした上で、本人の独創的な取り組みが認められる。 秀：上記3点を満たした上で、当該活動の成果が特に認められて、受け入れ機関、信州大学、その他の機関から表彰された場合。						
(6)事前事後学習の内容	受け入れ機関の定めに従うこと。						
(7)履修上の注意	1. 事前に学務委員の承認を得ずに受講した場合、単位認定されない場合があるので注意すること。 2. 大学院入学後の受講・留学等のみを対象とする。						
(8)質問,相談への対応	メール等にて随時受け付ける。教員室を訪ねる場合は、事前にアポイントメントをとること。						
(9)その他	高等教育コンソーシアムURL http://www.c-snet.jp/syllabus/						
【教科書】							
【参考書】							